

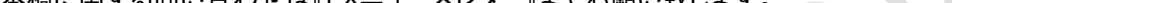
執筆担当:斎藤登美夫

25/06/18

もったも、ここ最近の北朝鮮は、周知のようにロシアとの関係を深化させている。「米国の思い通りにはなかなかない」といった声も少なくないようだ。

さらに、「ウクライナ」と「中東」、2 方面で戦争状態をたどるなか、米国の仲介が失敗したとなれば、中国も勢いづき「間隙を突く格好で行動に出る」(前述の自衛隊元幹部)ことも、現実のものとして一部で懸念されているようだ。

さすがに、尖閣諸島を含む沖縄県など日本に対して直接的に挑みかかることに予想にくいのが、それでも「台湾に侵攻する可能性は決して低くない」(同)のかもしれない。


当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の**無断転載・転送**もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。